

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
施策名	(ア)	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備	
	③	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり	
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	①	バス路線維持費補助事業	
担当課名	総合政策課		所属長名 小柳 哲也
関係課名			

1. 事業の目的	3. 実施内容（取組状況）
○バス路線の維持確保を図ることにより、地域住民の日常生活における利便性を向上するため。	○バス路線維持費補助金を交付した。26,350千円。 ○有川港ターミナル～奈良尾車庫前線 ・補助額：18,001千円、対前年度比6,958千円の増 ・利用者数：78,750人、対前年度比10,509人減 ○青方循環線 ・補助額：4,950千円（新規補助） ・利用者数：37,439人 ○青方～奈良尾車庫前線 ・補助額：3,399千円、対前年度比1,012千円の増 ・利用者数：31,471人、対前年度比2,552人の増 【参考】H28年度バス路線損失補償額実績 95,056千円、対前年度比4,657千円の増 ・10路線利用者数：184,103人 ・対前年度比：30,126人の減
2. 事業の概要	
○有川港ターミナル～奈良尾車庫前、青方循環線（国補助路線）、青方～奈良尾車庫前（県補助路線）に対する補助金で、補助額は、実績欠損額から国及び県の補助額を控除した残りの額を限度として補助するもの。 ○新上五島町バス路線維持費補助金交付要綱	

	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	26,350千円					26,350千円

4. 事業における成果	5. 事業における課題
○補助金を交付することにより、不採算路線のバス路線を運行することができ、地域住民の日常生活における利便性の向上及び地域住民の足としての維持確保が図られている。	○利用者数の減少が補助対象路線の要件である経常収益の悪化につながり、国及び県補助を受けられなくなることが懸念されるところであり、経常収益の改善を検討する必要がある。 ○少子高齢化や自家用自動車の普及等により、利用者数が減少しており、今後もその傾向が続くことが想定されるため、バス路線・ダイヤの合理化や島外民の利用の促進を図ることが課題である。

6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて
○平成29年度に地域公共交通網形成計画を策定することとしており、今後の公共交通の方向性・あり方などを検討した上で、交通ネットワーク協議会などと連携して取り組んでいく。

担当課評価	C	○本事業により、地域住民の日常生活における利便性の向上及び地域住民の足としての維持確保が図られているが、利用者数が減少傾向にある。 ○平成29年度に新上五島町地域公共交通網形成計画を策定し、これまで地域住民の利用の観点から構築されてきた本町の公共交通を島外からの観光客等の利用を促進する路線・ダイヤサービスの程度を含め総合的な方向性、あり方などを検討していく。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
施策名	(ア)	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備	
	③	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり	
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	②	高齢者割引パス補助事業	
担当課名	総合政策課		所属長名 小柳 哲也
関係課名			

1. 事業の目的						
○本事業は、高齢者社会への対応策として、住み慣れた地域で安心安全な暮らしの実現のため、公共交通機関における移動の円滑化の促進と地域活性化を図ることを目的としている。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○町内を運行する路線バスにおいて、町内に住所を有する70歳以上の高齢者を対象に3分の1以内で路線バス事業者への補助。 ・1年間有効分：通常価格 34,800円、町補助額 11,600円、利用者負担額 23,200円 ・4ヶ月有効分：通常価格 17,400円、町補助額 5,800円、利用者負担額 11,600円 ○新上五島町路線バス「高齢者割引パス」助成事業補助金交付要綱				○平成28年度実績：補助額 3,526千円 ・全体利用者数 330人、対前年度比19人減、 ・1年間有効分 利用者数 278人（対前年度比27人減）補助額3,225千円 ・4ヶ月有効分 利用者数 52人（対前年度比8人増）補助額301千円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	3,526千円					3,526千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○リフレッシュパスの料金改定が行われたため、年間パスの利用者の減少が見られたものの、定期券の利用率では変わらないため、公共交通機関の利用促進及び利便性が図られている。				○本制度を知らない住民もまだいることから、本制度の更なる利用促進に向けて住民周知が必要である。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○住民への周知方法の充実（ニューズレターの発行、ホームページ、広報誌、チラシなど）を交通事業者と連携して取り組んでいく。						

担当課評価	B	○本事業により、公共交通機関の利用促進及び利便性の向上が図られており有効であるものの、更なる利用促進に向けた住民への周知が不十分である。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
施策名	(ア)	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備	
	③	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり	
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	③	公共交通空白地域解消事業	
担当課名	総合政策課		所属長名 小柳 哲也
関係課名			

1. 事業の目的			3. 実施内容（取組状況）			
○本事業は、町内の公共交通路線の空白地域に対し、日常生活に不便をきたすことから、地区等に交通費の助成及び民間への運行委託を行い、地区住民の交通を確保し、日常生活の利便性の向上と住民の足としての維持確保を図ることを目的としている。			○公共交通空白地域解消事業 合計 15,554千円 ○佐尾地区（ジャンボタクシー） ・補助額 2,568千円 ・H28利用者442人、運行便数244便 ○須崎地区（ジャンボタクシー） ・補助額 1,017千円 ・H28利用者6人、運行便数6便 ○石司地区（小型タクシー） ・補助額 420千円 ・H28利用者数240人、運行便数113便 ○宿ノ浦～若松間（ジャンボタクシー） ・委託費6,074千円 ・H28利用者数3,358人、運行便数852便 ○大平～若松間（ジャンボタクシー） ・委託費 5,475千円 ・H28利用者数1,760人、運行便数1,071便			
2. 事業の概要						
○各地区への交通補助金 ・佐尾地区、須崎地区、石塚地区の3地区 ○宿ノ浦～若松、大平～若松の2地域間において、デマンドタクシーの運行を委託						
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	15,554千円			15,500千円		54千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○公共交通の空白地域における日常生活の交通手段の維持・確保が図られている。 ○公共交通の空白をなくすことにより、住民の不安解消や負担軽減が図られている。			○公共交通の空白地域については、町全体の地域の実情・要望等の把握に努めながら、今後の対応策について検討していく必要がある。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○現在、地域公共交通網形成計画を策定中であり、今後の公共交通のあり方・方向性などを検討した上で、交通ネットワーク協議会などと連携して取り組んでいく。						

担当課評価	B	○本事業により、公共交通の空白地域における日常生活の交通手段の維持・確保が図られているとともに、公共交通の空白をなくすことで住民の不安解消や負担軽減が図られている。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
施策名	(ア)	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備	
	③	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり	
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	④	スクールバス更新事業	
担当課名	学校教育課		所属長名 中 村 孔 一
関係課名	総合政策課		

1. 事業の目的						
○年次計画により老朽化したスクールバスを更新し、児童生徒の登下校の安全かつ安定した輸送手段の確保を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○若松地区のスクールバス1台を更新する。 ・19,156千円（平成29年度へ繰越）			○H25 奈良尾地区スクールバス更新1台 ○H26 奈良尾地区スクールバス更新1台 ○H27 奈良尾地区スクールバス更新1台 ○H28 若松地区スクールバス更新1台			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○老朽化したスクールバスを更新することで、児童生徒の登下校の安全かつ安定した輸送手段を確保することができた。			○児童生徒数の減少に伴う学校統廃合の影響が課題である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○学校統廃合が進むことによって、より遠距離から通学する児童生徒の増加が見込まれるため、常にその動向を注視し、効率的かつ効果的なバス運行を実施していく。						

担当課評価	A	○更新計画のとおりスクールバス購入事業を実施しており、児童生徒の登下校等の安全かつ安定した輸送手段が確保された。
委員評価	A	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
施策名	(ア)	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備	
	③	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり	
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	⑤	道路整備事業（国道・県道含む）	
担当課名	建設課	所属長名	本 田 雄 喜 治
関係課名			

1. 事業の目的						
○便利で安全な住民生活と円滑な経済活動確保や地域間相互の連携強化を図るため、幹線道路や生活道路について計画的な整備を図る。また、国道や主要地方道、一般県道などの幹線道路の整備促進を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○国道・県道・町道など住民生活に欠かせない道路の整備を行う。				○平成31年度末の(改良)目標率を国県道で96.2%、町道(1・2級)で73.8%と定め、計画に基づき、道路改良を進めている。 【県営事業負担金】 改良 上五島空港線ほか 36,416千円 【国庫補助事業】 改良 浜ノ浦道土井線ほか 78,002千円、 繰越明許分 48,043千円 【町単独事業】 新設 冷水部落内線ほか 174,043千円、 繰越明許分 1,246千円 【石油立地交付金事業】 改良 小浜三本松線ほか 82,806千円 ※道路橋梁維持管理事業を除く		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	409,271千円	52,102千円		228,600千円	78,875千円	49,694千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○財源が厳しい中であるが、道路整備事業は計画的に執行されており、利便性、安全性の向上に繋がっている。				○未改良路線も多く、事業を施行するうえで、多額の事業費が必要である。また、所有権移転登記が難しいものや、利用率、経済効果の低い計画が残っている。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○用地の取得がスムーズな路線を計画的に整備していくとともに、利用率、経済効果を検討し、事業の休止や廃止、コスト縮減等の見直しを行い、合理化を図る。						

担当課評価	B	○住民生活に欠かせない整備事業であり、計画的に進捗されている。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る	
施策名	(ア)	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備	
	③	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり	
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化	
事業名	⑥	船舶リプレイス・リフレッシュ補助事業（県事業）	
担当課名	総合政策課		所属長名 小柳 哲也
関係課名	（長崎県新幹線・総合交通対策課）		

1. 事業の目的						
○離島航路は、島の人々にとって重要な交通手段であり唯一の本土への足となっている。このため、離島基幹（貨物）航路に使用されている船舶の更新（リプレイス）及び長寿命化（リフレッシュ）のための修理点検に要する経費を補助することにより、補助金相当額を運賃低廉化に反映させ、島民の負担軽減及び離島地域の交流拡大を図ることを目的としている。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○船舶更新（リプレイス）補助 ・補助率：10/10以内 ・対象航路： 長崎～五島、佐世保～上五島、長崎～鯛ノ浦、 福江～青方～博多、長崎～五島貨物航路に就航している概ね20年以上の老朽フェリー等の更新。 ○船舶長寿命化（リフレッシュ）補助 ・補助率：10/10以内 ・対象航路： 長崎～五島、佐世保～上五島、長崎～鯛ノ浦、 福江～青方～博多に就航している船舶の修理点検費等			○H21年度：長崎～五島航路更新（H23.4 万葉就航） ・H23.4月～22年間基本運賃2割値下げ ○H23年度：長崎～五島航路更新（H24.12 椿就任） ○H25年度：長崎～鯛ノ浦航路更新 ・H26.3月 びっくあーす2号就航 ・H23.2月から実施中の基本運賃1.5割値下げを期間延長（H42.2.17）して実施 ○H26年度：福江～青方～博多航路更新 ・H26.7月 太古就航 ・H26.7月～H54.10月基本運賃2割値下げ ○リフレッシュ補助による割引（9種類）実施			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○リプレイス及びリフレッシュ補助により運賃低廉化が図られている。			○引き続き対象航路に就航している船舶の更新、長寿命化に補助を行うとともに、新船建造費等検証委員会による適切な建造計画の推進、離島基幹航路運賃対策協議会による適切かつ効果的な運賃引き下げ、割引等について検討していく。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○更なる運賃低廉化に向けて、国境離島新法など他の支援制度の活用を検討していく。						

担当課評価	B	○佐世保～上五島航路について運賃低廉化が図られるよう、関係市町との協議・検討をしていく。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。